

平成25年 9月17日

千歳線 島松駅～北広島駅間で発生した取扱い誤りについて

- 1 発生日時 平成25年9月15日（日） 10時11分頃
- 2 発生場所 千歳線 島松駅～北広島駅間（下り線）
- 3 当該列車 帯広 6時48分発 札幌行き 特急スーパーとがち2号（5両編成）

4 概 況

当日、7時24分頃、当該区間において軌道短絡（落雷による信号機故障）が発生しました。このため、9時15分から当該区間で代用閉そく方式（指令式）※により運転を再開させました。当該列車が島松駅を発車したことを認めた輸送指令は、先行列車（苫小牧 7時23分発 小樽行き 普通列車）が北広島駅進入中であつたため、当該列車を直ちに停止させ、島松駅まで退行させた後、出発を指示し、当該列車は島松駅を16分遅れて出発しました。

※代用閉そく方式 通常の信号によらず、輸送指令の指示に基づき、列車を安全に運行させる方式

5 原 因

関係者間の連絡に齟齬があつたため。

6 付 記

- (1) 本代用閉そくは島松駅～北広島駅間を1つの閉そく区間として取り扱っており、列車の運行は全て指令の指示により行っていた。
- (2) 代用閉そくは全部で11本の列車に対して行っており、当該列車は4本目である。
- (3) 輸送指令は、10時11分頃当該列車が発車したとの連絡を受け、直ちに運転士に無線機にて停止の指示を行い列車を停止させた。
- (4) 信号の記録装置を確認したところ、先行列車が北広島駅進入中に本列車が発車したことが判明した。